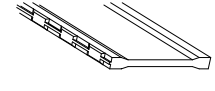
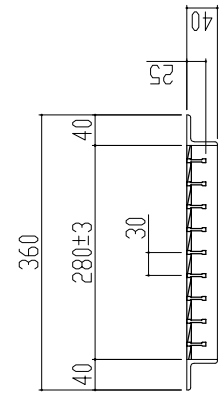
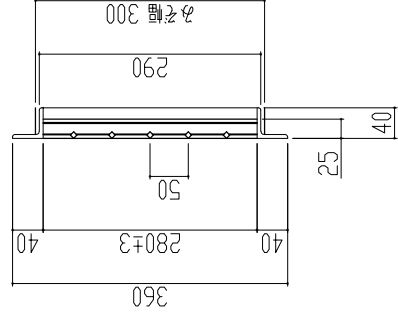
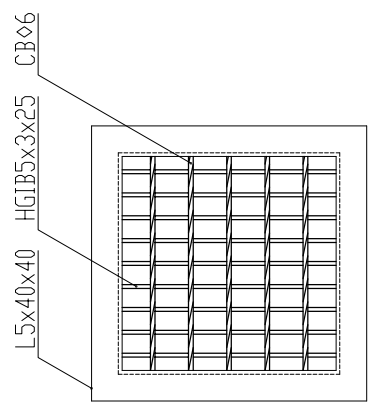


車輛進行方向(横断)



重量 5.9 kg

主部材詳細図

表面処理 本体は溶融重鉛メッキ仕上げ
(JIS H8641)

訂正年月日 標準製作図面 訂正年月日 訂正番 訂正年月日 訂正番 訂正年月日 訂正番	検印 (平元)	承認印 (山口)	製図 (松本)	図面名称 T-2	株式会社 マキテック MK駐輪事業部
	訂正者 ()	承認印 ()	製図 ()	図 番	MGK-L-512
	訂正事項 ()	承認印 ()	製図 ()	四面ソバ付き(ハイテン) グレーチング 溝幅300用 並目 ノンスリップ	
	訂正年月日 ()	承認印 ()	製図 ()	LNL F255-280/280	

グレーチング強度計算書



1 仕様	品名	LNLF255-280/280
	製品寸法	280x280x25
	主部材	1-5 × 3 × 25
	断面係数	Z= 0.485 cm ³

2 設計条件	荷重条件	T-2	支点間距離	L = 300
	後輪一輪荷重	P = 8000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、横断
	主部材ピッチ	O = 30 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 160 mm		

3 強度計算	<p>1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。</p> $\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$ $\omega = 8000 \times (1 + 0) \times 30 / 32000$ $\omega = 7.50 \text{ (N/mm)}$
	<p>2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。</p> $M = \omega \times 0.5 \times a \times (L - 0.5 \times a) / 2 \quad \text{より}$ $M = 7.5 \times 0.5 \times 200 \times (300 - 0.5 \times 200) / 2$ $M = 75,000 \text{ (N・mm)}$
	<p>3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm²) を求める。</p> $\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$ $\sigma_b = 75,000.0 / 485.000$ $\sigma_b = 154.64 \text{ (N/mm}^2\text{)}$ <p>従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm²) に対し、</p> $\underline{154.64 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 320 \text{ (N/mm}^2\text{)}}$

4 総括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
---------	--